



2024年5月9日

各位

会社名 ブラザー工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 佐々木 一郎  
(コード番号: 6448 東証プライム・名証プレミア)  
問合せ先 専務執行役員 伊藤 敏宏  
(TEL. 052-824-2075)

### ローランド ディー. ジー. 株式会社株式 (証券コード: 6789) に対する 公開買付け実施に向けた進捗状況のお知らせ

ブラザー工業株式会社 (以下「公開買付者」といいます。) は、2024年3月13日付「ローランド ディー. ジー. 株式会社株式 (証券コード: 6789) に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせ」 (以下「2024年3月13日付プレスリリース」といいます。) においてお知らせいたしましたとおり、本公開買付前提条件 (2024年3月13日付プレスリリースにおいて定義された意味と同一の意味を有します。以下同じです。) の全てが充足され、又は、公開買付者により放棄された場合に、本公開買付前提条件の全てが充足され、又は、公開買付者により放棄された日から5営業日以内に、株式会社東京証券取引所プライム市場に上場しているローランド ディー. ジー. 株式会社 (以下「対象者」といいます。) の普通株式 (以下「対象者株式」といいます。) に対する公開買付け (以下「本公開買付け」といいます。) を開始することを予定しており、2024年5月中旬を目途に本公開買付けを開始することを目指している旨を公表しておりました。

一方で、XYZ株式会社 (以下「XYZ」といいます。) の2024年2月13日付公開買付届出書によれば、XYZは、対象者株式の全て (但し、対象者が所有する自己株式を除きます。) を取得し、対象者株式を非公開化することを目的として、いわゆるマネジメント・バイアウト (MBO) のための一連の取引の一環として実施する対象者株式に対する公開買付け (以下「XYZ公開買付け」といいます。) を、公開買付期間を2024年2月13日 (火曜日) から2024年3月27日 (水曜日) まで、公開買付価格を当初5,035円として行っているとのことです。その後、かかる公開買付期間は、2024年3月27日付で2024年3月27日 (水曜日) までから2024年4月12日 (金曜日) までに、2024年4月12日付で2024年4月12日 (金曜日) までから2024年4月26日 (金曜日) までに変更された後、XYZが2024年4月26日付でXYZ公開買付けにおける買付け等の価格を5,035円から5,370円に引き上げることを内容とする公開買付届出書の訂正届出書を提出し、これに伴い、かかる公開買付期間は2024年4月26日 (金曜日) までから2024年5月15日 (水曜日) までに変更されたとのことです。

これに対し、本日、公開買付者は、対象者の取締役会及び特別委員会との協議及び交渉の経緯その他諸般の事情を考慮して、本公開買付けにおける買付け等の価格を5,200円から引き上げないことを決定いたしましたので、お知らせいたします。

2024年3月13日付プレスリリースにおいても記載したとおり、公開買付者は、2019年12月ごろより、対象者との間で協業や共同開発を含めた両社の企業価値向上に向けた施策について協議を行ってまいりました。その後、公開買付者は、対象者との間で製品の共同開発等の取り組みを実施する中で、公開買付者が対象者の中長期的な企業価値向上を実現できる最適なパートナーであると確信したことから、2023年9月1日付で意向表明書を提出し、また、2024年3月13日以降付プレスリリースを公表した以降、対象者の取締役会及び特別委員会との協議及び交渉を真摯かつ誠実に行ってまいりました。

しかしながら、対象者は、公開買付者から当該意向表明書を受領したにもかかわらず、公開買付者を入札

プロセスやデュー・ディリジェンスのプロセスに招聘することなくマネジメント・バイアウト（MBO）を推進してきたことに加え、2024年3月13日以降付プレスリリースを公表した以降は、ディスシナジーが発生する可能性を口実にして、公開買付者に過度に詳細な説明や提案の具体化・定量化の要請を継続的に求めてきました。このような経緯から明らかなように、対象者の対応・手続は、当初から一貫して、公開買付者による対象者の経営支配権の取得を阻止することを実質的な目的として行われたものであり、経済産業省の「企業買収における行動指針」の趣旨に悖るものとして、日本の資本市場に対する内外の信頼を著しく損なう行動であったと言わざるを得ないと考えております。

また、対象者の一部の役員は、かかる目的のため、上記の協議及び交渉の過程並びに一部報道機関に対する取材において、公開買付者に対する守秘義務に違反の上で、事実誤認に基づき又は具体的な根拠を示すことなく、対象者のステークホルダーの皆様への誤解を招きかねない説明や、公開買付者の営業上の信用を毀損する説明を繰り返すなどしております。公開買付者としては、対象者のこれらの対応は日本の市場の重要な一翼を担う上場企業として節度を著しく欠くものであると考えており、対象者の不誠実な言動に対しては、断固たる姿勢で対応を検討してまいります。

公開買付者としては、対象者の2024年4月26日付「XYZ株式会社による当社の普通株式に対する公開買付けに関する意見の変更についてのお知らせ」に記載された対象者の意見を踏まえても、対象者の想定するディスシナジー発生論には論理の飛躍があり、当該ディスシナジーが発生する蓋然性は低いと考えております。公開買付者が過去に完全子会社化した会社も、サプライヤーの協力を得ながら順調に成長を果たしていることから、公開買付者としては、現時点においても、対象者から友好的かつ建設的な姿勢をうかがうことができるのであれば、公開買付者が対象者の中長期的な企業価値向上を実現することのできる最適なパートナーであると考えております。

しかしながら、対象者の取締役会及び特別委員会との協議及び交渉の経緯、報道対応その他諸般の事情を考慮し、特に、事実誤認に基づく主張又は具体的な根拠を欠く主張を繰り返す対象者の経営陣との間で、対象者の企業価値を最大限向上するために必要不可欠な信頼関係を構築することは今後見込めないとの判断のもと、公開買付者は、非常に残念かつ遺憾ながら、本日、本公開買付けにおける買付け等の価格を5,200円から引き上げないことを決定いたしました。なお、今後、本公開買付けの前提条件が充足された場合には、当初の予定どおり本公開買付けを開始する予定です。

公開買付者は、ブラザーグループビジョン「At your side 2030」に記載のとおり、変化の激しい環境に対応しながら、持続可能な成長を実現していくために、引き続き、産業用領域の飛躍とプリンティング領域の変容により企業価値の最大化に努めていく方針です。今後もあらゆる場面でお客様を第一に考える“*At your side.*”の精神で、社会の発展と地球の未来に貢献してまいります。

以上